

現場社員のための 組織行動力向上

コース番号：058-039

2025年

開催日時：**11月25日(火)** 募集締切：**11月11日(火)**
9:30~16:30 (6時間)

開催場所：ポリテクセンター山梨

定員：**16名程度** (先着順)推奨者：**初任層**

受講料
3,300円 (税込)

コースの狙い

企業の仕組みや、業界の背景について理解を深め、一般社員のうちから経営者の視点を理解し、上司の補佐や後輩の育成を行い、生産性向上のためのビジネス感覚を養うことにより、自ら主体的に社内の問題発見・業務改善を現場から発信するために必要な知識、技能を習得します。

主な訓練内容

◎ 企業組織と生産活動

(1) 会社の存在意義と仕組み

会社の仕組み、社会に提供する付加価値、法人としての使命を明確化します。その上で、自社がどのような状況下にあるか、どのような対応が求められるかを考える契機として5force分析を用いて自社のポジションを明確化し、今後どのような組織を目指すべきかを検討します。

【演習】会社におけるご自身の役割の検討

(2) サステナブルな企業になるために必要な要素

利益構造の仕組みを概念として理解し、自社の収益最大化方法を検討します。売上や利益達成を上司のタスクとみなすのではなく、自らが率先して積み上げていくことで成果が上がるということを理解します。財務観点から会社を存続させることをゲームで体感します。

【演習】ペーパータワー

◎ 状況変化に対応する現場力

(1) コミュニケーションの必要性

組織を構成する3要素のうち、コミュニケーションを取り上げ、コミュニケーションが阻害されるとどのような弊害があるかをゲームで体感し、率先して関係性を構築する重要性を把握します。また、関係性を構築するにあたり、どのような対応が可能か議論します。

【演習】コミュニケーションゲーム 【演習】コミュニケーション円滑化の方法検討

◎ フォロワーシップと組織行動力

(1) フォロワーとリーダーの関係

仕事では、フォロワーになる場面とリーダーになる場面があることを理解し、それぞれの役割や位置づけを確認します。その上で、自身がフォロワーシップを発揮する場面、リーダーシップを発揮する(しなければいけない)場面を定義します。

【演習】リーダーとしての振る舞い、フォロワーとしての振る舞いの自己分析

(2) 組織行動力を高める自己分析

研修内容を踏まえ、組織行動を行うにあたっての自分の強み、弱みを明確化します。そして自分の特性を意識することで、日々の行動が変わっていくことを理解します。 【演習】自己分析と他者評価から自身の強みを確認し、明日からの行動計画に転換します。

○ 訓練内容のココがポイント!

組織行動力は具体的に行動することが求められるため、座学よりも、演習を通して多くの気づきを得ること、得られた気づきを自分の次の行動計画に応用することに注力できるようなカリキュラムとしています。そのため、講義においても双方向のコミュニケーションを重視し、講師もできる限りコメントすることで受講者の考えを深堀します。

演習は自らの振る舞いや職場などの身の回りの環境をテーマにすることで、出来る限り具体的かつ自分事として議論できるようにし、研修により自己分析を行うことで、明日から自信をもって行動できる要素(根拠)を持ち帰っていただき、率先して組織行動力を発揮していただくよう自ら行動計画を立てていただきます。

実施機関&講師

一般社団法人

日本経営協会

講師 **清水 康裕氏**

講師Profile

システムインティグレーター、大手監査法人系コンサル会社に所属し、20年以上にわたり一貫してIT化導入・支援などの職務に従事。中小企業診断士として独立後は幅広い業種に向けた経営指導、業務改善、人材開発支援活動を行っている。

お申し込みは

※ 当HP内「令和7年度オープンコース第2弾受講者募集のご案内」の下部に、Excel形式で直接必要事項が入力できる「オープンコース第2弾受講申込書」があります。